

# 景況レポート

# 5月

## 5月の県内景況は、前月に比べやや悪化。大型連休やイベント等の開催により一部業種で景況が好転するものの、依然として厳しい状況にある。

情報連絡員による平成29年5月の県内中小企業の景況は、業界全体として「好況」は10.3%（前月比+1.2）となっており、「横這い」は39.7%（同-5.8）、「低調」とするところが50.0%（同+4.6）、業界全体の「景況感DI」は39.7%（同-3.3）となっています。

### 1. 全産業の項目別前年同月比DI値の動き

◇「売上高」、「設備操業度」の2項目が前月と比較して好転しています。

### 2. 業種別の「業界の景況」

◇前年同月と比較して、「快晴」または「晴れ」の業界はなく、食品品製造業、繊維製品製造業、木材木製品製造業、鉄工機械製造業、卸売業、建設業が「曇り」または「薄曇」、その他の業種は「大雨」または「雨」となっています。

◇来月の見通しは、好転、やや好転の見込みとの回答が、17.2%（前月比+6.3）と増加しております（好転の回答1件、やや好転の回答9件）（製造業2、非製造業8）。変わらないが、62.1%（前月比+2.1）と増加しております。一方、やや悪化、悪化の見込みは、20.7%（前月比-8.4）と減少しております。

平成29年5月の景況について、情報連絡員からの報告は以下のとおりです。（回収率96.7%）

項目別DI 業種区分	売上高		販売価格		収益状況		資金繰り		雇用人員		業界の景況	
	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比
食品品製造	☁️	-14.29	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
繊維製品製造	☁️	-33.33	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
木材木製品製造	☁️	0.00	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
鉄工機械製造	☁️	-25.00	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
その他の製造	☁️	-28.57	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
卸売業	☁️	25.00	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
小売業	☁️	-66.67	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
商店街	☁️	-50.00	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
サービス業	☁️	33.33	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
建設業	☁️	-20.00	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
運輸業	☁️	-66.67	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️

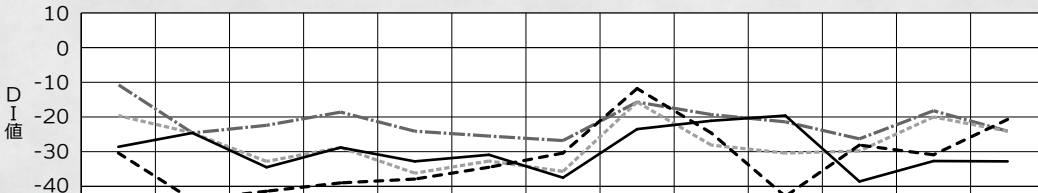
### 天気図の見方

各景況項目について「増加」（または「好転」）業種割合から「減少」（または「悪化」）業種割合を差し引いた値(D・I値)をもとに作成。その基準は下表のとおりである。

### D・I値基準値

- ☀️ 快晴 30以上
- ☀️ はれ 10~30未満
- ☁️ うすぐもり -10~10未満
- ☁️ くもり -30~-10未満
- ☔️ 雨 -50~-30未満
- ☔️ 大雨 -50未満

業界の景気動向（前年同月比）全業種 DI 値（平成28年5月~平成29年5月）



	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月	平成29年4月	平成29年5月
業界の景況	-28.6	-24.6	-34.5	-28.8	-32.8	-30.9	-37.5	-23.5	-21.1	-19.6	-38.6	-32.7	-32.8
売上高	-30.4	-43.9	-41.4	-39.0	-37.9	-34.5	-30.4	-11.8	-24.6	-42.9	-28.1	-30.9	-20.7
収益状況	-19.6	-24.6	-32.8	-28.8	-36.2	-32.7	-35.7	-15.7	-28.1	-30.4	-29.8	-20.0	-24.1
資金繰り	-10.7	-24.6	-22.4	-18.6	-24.1	-25.5	-26.8	-15.7	-19.3	-21.4	-26.3	-18.2	-24.1

## 食料品製造業

### <漬物>

昨年同月比で見ると売上高は増加している。しかしながら、全体的な業界の状況は非常に厳しい。

### <味噌醤油>

味噌用の加工米価格がやや上昇気味であり、今後の動向が懸念される。

### <菓子>

閑散期に入り、厳しい運営が続いている。

### <酒造>

売上げは相変わらず減少している。これから秋までは減少が続くと思われる。イベント（6月、8月、9月）でのPRを強化していきたい。また、輸出についても今年度は、アジアを中心に伸ばしていきたい。（7月：香港、10月：ロンドン）

### <食品団地>

今月は大型連休や県内外のイベント等でやや消費も上向いたが、気温の変動も激しく季節商品への切替が難しかった。消費者ニーズが多様化する中で持続的な商品づくりが重要となってくる。今後も経済環境の変化や原油価格の高騰等、収益に影響が出てくる見通しで難しい状況が続いている。

## 繊維工業

### <ニット>

組合員企業においては、取引先によって受注の差が出てきており、二極化が見られる。

## 木材・木製品製造業

### <製材業>

4月以降、晴天が続いていることから丸太（素材）の出材は順調である。

### <外材輸入>

先月に引き続き、大手プレカット工場の稼働率は好調である。仕入コストの上昇基調が続く中、低調な製品の荷動きの為に相場は膠着状態で推移している。

## 紙・紙加工品

### <紙器・段ボール箱>

最近のニュース等では景気が上向き、株価が上昇等と報道されているが、業界としては景気が上向きという実感が湧いてこないのが現状である。

## 印刷

### <印刷業>

4月までは各社とも前年に対して厳しい業況であったが5月は前年並みを確保した見通しである。

## 窯業・土石製品製造業

### <碎石>

(県北地区)

1. 当月売上数量	前月比	± 0%
2. "	昨年同月比	約10%減
3. 本年度売上数量	昨年対比	約20%減

### 4. 原因・現状

先月同様に公共工事及び民間工事等からの注文が少なかった。

### <生コン>

平成29年5月の組合員生コン出荷数量は、138,508m<sup>3</sup>と対前年同月比+10.1%。出荷数量の内訳は、民需が対前年同月比+12.7%、官公需が+4.4%であった。

#### ○民需の動向

対前年同月比 +12.7%

#### 対前年同月比増加地区

県北地区：+37.2% 市内病院新築工事、福島テレビ新社屋整備工事等

いわき地区：+60.2% 小名浜SSサイロ増設工事、ショッピングモール新設工事等

相双地区：+0.9% 第一原発固体廃棄物貯蔵庫、広野火発石炭貯蔵設備建設工事等

#### 対前年同月比減少地区

県中地区：-5.0% 市内病院治療センター増築工事等

白河地区：-15.0% 工場倉庫増築工事等

会津地区：-6.4% マンション、工場建設工事等

#### ○官公需の動向

対前年同月比 +4.4%

#### 対前年同月比増加地区

県北地区：+66.8% 福島市体育館新築工事、東北中央自動車道桑折高架橋工事等

県中地区：+11.4% 郡山市西田学園、須賀川市民交流センター建設工事等

白河地区：+50.6% 古殿町体育館建設工事等

会津地区：+91.0% 河東学園建設工事、新山都総合支所庁舎建設工事等

#### 対前年同月比減少地区

いわき地区：-34.4% 港湾災害復旧、磐城共立病院新築工事等

相双地区：-14.0% 福島再生賃貸住宅整備工事、Jビレッジサッカー練習所工事等

### <各種プラント機器>

当組合のプラント設備関連業界は、先月に引き続き定修工事の増加に伴い売上高が前月比で3.1倍と大幅な増加に転じた。しかし、前年同月比では69%と低調な値となり、前年累計比に於いても71%と、不安感含みの状態となった。

### <電子工業>

見積金額より10%の削減を強いられている等、取引条件は悪化している。

### <漆器>

ゴールデンウィークの小売販売は好調であったが、月後半の売上は低迷し、結局前年を下回ってしまった。

## 卸売業

### <卸売業>

5月は季節外れの猛暑が続き、飲料品等の水物商材の売れ行きが好調だった。また、6月以降の値上がり前にビール等においては駆け込み需要が見受けられた。今後、この反動がどの程度出るのか、警戒感を強

めている。一方、建材資材は、年度未まで需要が多かったが、4、5月に入り公共工事が減ってきたことから現在は落ち着いている。

#### <再生資源>

4月急落した古紙、鉄スクラップ価格も5月中旬からやや持ち直してきた。古紙は5月末から輸出価格が上昇し、国内向けも6月以降の価格に反映しそうな様相である。しかし、今後も不安定な値動きが予想され、いつ下落するか分からない状況である。

#### <米麦事業>

米穀の販売単価は昨年より上り、売上高は増えた。

## 小 売 業

#### <共同店舗>

(Oショッピングセンター)

売上高・来店客ともに、前月比では低迷。昨年比では、100%であった。飲食店は、好調であったが、物販が依然として厳しい状況となった。次月は、農作業も一段落するため、来店されるお客様に喜んで頂き、売上に繋がるような企画を検討したい。

(Nショッピングセンター)

大手薬局チェーン店の出店から4ヶ月が過ぎ、ショッピングセンター全体としてはプラスの効果があると思われる。今後は競合で売上を減少させている組合員の底上げが必要である。

#### <石油>

大型連休明けも元売り各社の仕切が若干値下がりとなり、市場の軟化に拍車がかかった。採算割れの価格と思われる小売が散見され、厳しい経営状況となっている。

#### <青果>

野菜単価がやや落ち着いてきたが、取扱量が伸び悩み減少となった。大型店におされ、前年と比べると取扱高がかなり減少した結果となった。来月あたりから徐々に家庭菜園の収穫も始まることもあり、厳しい状況になるものと見ている。

#### <家電>

気候変動により一部で動きが悪い。暑い夏の傾向に向かうようで今後の暑さに期待したい。最近では冷蔵庫、エアコンの動きが良くなっている。

## 商 店 街

#### <福島市>

全般的に人の動きが少なかったと実感させられる月であった。

#### <郡山市>

今月はうすい百貨店「夏の北海道物産展」や商店街イベント「まちなか子ども夢駅伝」が好評で昨年並みの多くの来街者があった。商店街を悩ませていたカラスの害は、ここ最近すっかり少なくなりきれいな商店街が保たれている。この先、夏のイベントや秋まつりと続いていくので、今のまま推移してくれればと願う。

#### <南相馬市>

商店街は大きなイベントもなく、閑散とした日々が続いている。栄町名物「ナイトばざーる」も集客に繋がらず苦戦している。

#### <会津若松市>

ゴールデンウィーク期間中、観光スポットに人はあったようだが、商店街周辺は静かであった。イベントを行い集客している商店街もあり、我々も考え直す必要がありそうだ。

## サービス業

#### <旅館業>

(土湯温泉)

日帰り観光客も含め、例年並みの実績である。ただ、震災前はゴールデンウィーク中、毎日多くの人が出ていたが、現在はあまり人が出ない。関東圏からの日帰り観光バスが激減しており、温泉街の商店や飲食店は打撃を受けている。

#### <美容業>

美容業界は5～6月の動向で年間売上の増減が最も現れやすい時期となっている。オンリーワンなどの対策を取っているサロンはそれなりに乗り切っているよう。今後は、「世代を超えて求められるニーズと世代別ニーズ」に注目し、お客様のニーズを的確に汲み取り、望まれるサービスを提供するようサービスの在り方を探っていきたい。

#### <理容業>

寒暖の差は大きかったが、安定した天候の5月であった。ゴールデンウィークは天候にも恵まれ、来街者、来店客も増加した。しかし、その後が厳しく、結果は前年をクリアできていない様子。少しずつ売上が落ち続けて、気がつくとも周りの物販店が減り、飲食店へと様変わりし昼間の来街者が激減している。

#### <一般廃棄物収集運搬>

通常業務については前月同様の売り上げを見込んでいる。産業廃棄物に関しては依然として排出量は震災前の水準には届かず、しばらくは増加することはないと思われる。一方、相馬港において、水産業が本格操業へ向けて動き出しており、これに伴い新たな契約が出来てきている。しかしながら、従来の規模までは時間がかかると思われる。雇用については、組合員各社でも人材の確保に苦慮している。

## 建 設 業

#### <建設業>

(県南地区)

市町村の土木・建築工事が若干発注になり、地元の建設業の受注が見られるが、県工事は地元企業の落札が難しい傾向にある。除染業務ではないが、側溝清掃(土砂上げ)などが発注されている。

#### <管工事>

前月比で給水設備申請が増加し、排水設備申請が減少。前年同月累計対比では、給水・排水設備申請とも減少している。

#### <専門工事>

一ヶ月経過する毎に、周囲の感覚が落ち込んでいくのが分かる。元請は仕事をどう受注するのかで躍起なのかもしれないが、下請けの立場としては、中身の詰まっていない内容で入札された上に変なんだと言われるても困ってしまう。その上、それを請ける下請けの

方でもこの位ならばと無責任に請け負ってしまう業者を止める術がない。かつての建設業は、元請が下請けの面倒を色んな意味で見守っていたが、今の元請はそうではなくなってしまった。私たち下請けもいつまでも元請から何とかなる程度に守ってもらえると思っ  
ていてはいけないし、自らが防衛する知識と知恵をつける必要があるのではないだろうか？毎日の生活がぎりぎりになると改善する為のお金も時間も取れなくなる。完全な負のスパイラルに陥ってしまう前に状況を打破する行動を始めないと、いざ直面した時に何ともできないのではないかと懸念が強くなっている。

## 運 輸 業

### <トラック団地>

(県北地区)

今年に入り事業所毎にバラツキはあるものの、総体的な売上高は僅かに減少している。

(県中地区)

4月から高速道路の規制が厳しくなり、荷物の総重量ばかりでなく前後の加重バランスにも注意しなければならなくなった。荷物の積み方は運送業者だけでは解決できないため、今後荷主企業にも協力を仰ぎ、規制を守っていく必要がある。

### <ハイヤータクシー>

今月は暑い日も続き、同年並みとなるも低調である。